

2017. 11. 14

田園調布雙葉中学高等学校

校長 滝口 佳津江

「上智大学（ソフィア）のルーツとアイデンティティ」

Man and Women for Others, with Others

麗しのアルマ・マーテル SOPHIA

～魂の錨をおろすところ（HOME）～

\* 祈り Libera あなたがいるから You were there  
\* 学校現場 夏休み明け 始業式の再現から

01 You were there/あなたがいるから

Music by Takatsugu Muramatsu  
Words by Robert Prizeman(MCPS)  
Arranged by Robert Prizeman

You were there in everything I knew  
From the moment I began  
Always there in every way I grew -  
Saved me falling, held my hand

You were shelter from the storm -  
The shadows faded away,  
My cares pass away

As hour by hour and day by day  
Your love lightens up the sky  
As it shines across the night

Ave Regina, coelorum decora, Virgo gloriosa Ave

And when the end of day is come  
Stay with me through the dark and bring me home

You are there - whichever way I go,  
Keep me safely - night and day  
Always there - whenever I'm alone,  
Hear me calling - show the way

You were shelter from the storm  
The shadows fade away  
All cares pass away

As hour by hour and day by day  
Your love lightens up the sky  
As it shines across the night,

Ave Regina, coelorum decora, Virgo gloriosa Ave

And when the end of day is come  
Stay with me through the dark and bring me home  
Stay with me through the dark and bring me home

© 2008 FUJII PACIFIC MUSIC Inc/EMI MUSIC JAPAN

あなたはいつも私のそばにいてくれた  
ずっと成長を見守ってくれた 私が転ばないように手をさしのべてくれた  
あなたは私を嵐から守ってくれた やがて暗闇は消え、私の憂いも消えた  
いつもあなたの愛が夜空を照らしてくれた

\*天の元后 優しきおとめ 清きマリアに栄えあれ

一日の終わりが訪れても 暗闇が訪れても

\*いつも私と共にいて 私を暗闇から魂のHOME（ふるさと）にお導き  
ください

私がどこへ行こうと、あなたはそばにいてくれる 昼も夜も私を守ってください

ひとりぼっちの時はいつもそばにいてください

私を導き私の思いに応えてください

あなたは私を嵐から守ってくれた

やがて暗闇は消え、

私の憂いも消えた

（以下、繰り返し）

日本語訳

宮崎晴代

\*部分 は 滝口

～我に返って～

絵：レンブラント

「放蕩息子の帰還」

<ルカによる福音書>

第15章 11～32節

より



## 1. はじめに 私にとっての上智大学

- ・ 田園調布雙葉学園（小・中高）の12年間 （キリスト教との出会い）
- ・ 上智大学の4年間 （キリストとの出会い）
- ・ 田園調布雙葉中学高等学校教師としての30年間 （キリストを伝える）

文学部史学科入学 3年より神学部聴講 社会科・宗教科教員免許取得  
大学2年の時に受洗 クルトルハイム ピタウ学長  
カトリック学生の会 テニスサークル「スマッシュ」  
家庭的な大学 規模も比較的こぢんまりと小さい・全員入試を経験（初顔合わせ）  
人と人との関わりが濃く、奉仕に生きるイエズス会士の生きる姿  
「人間学」という人間の生き方を問う講義が全学部にあったこと

- ・ 稲盛和夫 人生＝能力×熱意×考え方

- ・ 学校では様々なことを教わるが、何年か経って教わったものが忘れられ、その後に残ったもの、心に刷り込まれたものがあるかないかで、本当の教育を受けたかどうかが決まる。  
→ 生き方の価値観・魂の錨をおろすような場所（HOME）  
簡単にはポキッと折れない芯のようなもの  
辛い時、失意の時も生命・生きることへの希望を失わずに生きる  
イエズス会士の生き方・あり方と建学の精神を通して伝えられた「福音」と「過ぎ越しの神秘」＝キリスト教の価値観

## 2. 母校の教員として 働く母として

- ・ 教師として full commitment ×teaching machine

人間と人間として向き合う姿勢

神に愛された存在としての人間存在への畏敬と絶対的肯定感

to do(doing)よりもto be(being)

奉仕の精神

- ・ 働く母として、校長として 「お母さんの仕事は仕事でなくてmissionだ」

- ・ 我が子を天国に見送って → 家族の深い絆・キリスト教の死生観  
苦しみに意味を見出す 十字架の意味

Death is putting out the light, for the real light has come. タゴール

### 3. おわりに

♪ You raise me up

## ② You Raise Me Up

When I am down and oh my soul so weary  
When troubles come and my heart burdened be  
Then I am still and wait here in the silence  
Until you come and sit a while with me

Chorus:

You raise me up so I can stand on mountains  
You raise me up to walk on stormy seas  
I am strong when I am on your shoulders  
You raise me up to more than I can be

(Chorus 3 times)

You raise me up to more than I can be

## ユー・レイズ・ミー・アップ

落ち込んで 心底うんざりした時  
困難に見まわれ 心に重荷を抱えた時  
私はここで ただ静かに待つ  
あなたが来て そっと寄り添ってくれるまで

コーラス:

あなたが励ましてくれるから 山の頂きにも立てる  
あなたが励ましてくれるから 荒ぶる海も渡ってゆける  
私は強くなれるのよ あなたの支えがあれば  
あなたが励ましてくれるから 私以上の私になれる

(コーラス×3)

あなたが励ましてくれるから 私以上の私になれる

### 使用した音楽 (CD)

\* 最初の曲

LIBERA 「 祈り ～あなたがいるから～」

\* 最後の曲

Celtic Woman Believe

ケルティック・ウーマン「ビリーヴ ～永遠の絆～」

\* もしかしたら使う曲

田園調布雙葉学園 75周年記念CD

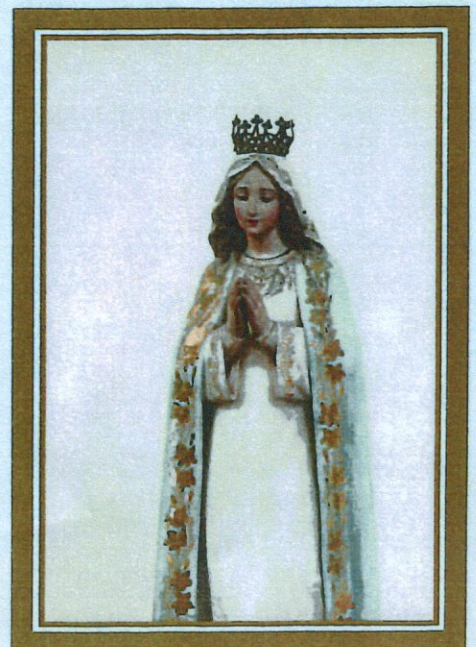
感謝します

感謝します ころもに遭わせ 鍛え給う主の導きを  
感謝します 苦しみの中に 育てたもう主の みこころを  
しかし願う道が 閉ざされた時は 目の前が暗くなりました  
どんな時でも あなたの約束を 忘れない者としてください

感謝します 悲しみの時に 共になき給う主の愛を  
感謝します こぼれる涙を ぬぐい給う主のあわれみを  
しかし願う道が 閉ざされた時は 目の前が暗くなりました  
どんな時でも あなたの約束を 忘れない者としてください

感謝します ころもに耐える 力をくださる み恵みを  
感謝します すべてのことを 最善となし給う みこころを

75<sup>th</sup> Don-en-chofu Futaba Gakuen







## 夏休み、お健やかに過ごしてましたか？



皆さんの明るい笑い声が教室に帰ってきました。ツクツクボウシやアブラゼミの鳴き声も聞こえる中、新学期の各種テストに集中して臨まれる皆さん。その姿をベランダから窓越しに眺めながら、元気にこの日を迎えらるしあわせに感謝する始業式の1日でもありました。風の涼しさや、4階という上空もかすめ飛ぶトンボたちの姿に確実に秋の訪れが感じられます。

新型インフルエンザが心配される今秋となっております。始業式に吉瀬先生からお話しいただいた感染予防・拡大防止への取り組みをひとりひとりがしっかり守り、先生のお言葉の通り、みんなで新型インフルエンザに立ち向かって行きましょう。（吉瀬先生が「立ち向かっていきましょう」と話されたたん、「エイエイオー！」の姿勢を取られた高2の方あり。負けないでいきたいですね。）

始業式の始まる呼びかけに応じて、すうっと静まりかえった記念講堂の静けさは、本当に深い静けさでした。座席におられる800人近くの方が、ぴんと背筋を伸ばして姿勢良く座られる姿も、壇上からとてもすがすがしく感じられました。始業式では、行事も多く、相互のかかわりも一層多くなり、深められる今学期だからこそ大切にしたい心と呼びかけさせていただきました。以下、式辞をそのまま掲載いたします。

## 平成21年度 2学期始業式 式辞



夏休みも終わり、今日から2学期が始まります。みなさんお元気に過ごされましたか？ 新型インフルエンザ感染をとっても心配した夏でもありました。「よい練習ができました」「よい合宿でした」合宿から帰られて達成感に満ち溢れるご報告を伺うたびに、「うちはできなかった」ということがありませんよう願っておりました。ひとつの部だけ早帰りとなり残念でしたが、全般的には元気で大きな事故もなく、運動部の各大会でも良い結果を残し、新しいお友達もお迎えしてスタートできる今日。今学期の始まりを神さまに心から感謝したいと思います。

今年の夏、私は参加した研修会で、心に残るひとつの詩に出逢いました。今日はその詩をご紹介します、2学期に向かう心を確認したいと思います。作者は新聞記事を詩に創作される、この研修でお会いしたユニークな校長先生。ペンネームは中村叶さん。「一杯のジュース」という詩をご紹介しますので、空の旅をイメージしながら聴いて下さい。



生まれつきの小児麻痺の子どもを  
初めて飛行機に乗せた  
生涯寝たきりだった子ども  
仙台発大阪行き日航812便

67歳の私は  
妻と二人で東北旅行を終えて  
帰路につく機中の人

小児麻痺の子どもは  
昨年40歳で亡くなって  
だから、写真が飛行機に乗った

生涯寝たきりだった子ども  
初めての飛行機旅行

あっ、富士山！  
霊峰富士が雲海から頭を出していた

40年の生涯を寝たきりで過ごし  
この美しい富士のお山を見ることも  
かなわず  
昨年、遠くへ旅立ったわが子

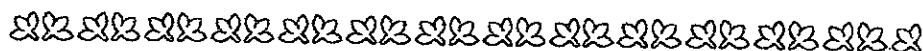
さあ、見てごらん 富士山がきれいだよ  
写真を窓際に置いた

客室乗務員の女性が  
飲み物を配っていた

私の席のところへ来ると  
「お写真の方にもどうぞ」と  
一杯のジュースが差し出された

一杯のジュース  
「お写真の方にもどうぞ」

美しい富士山と  
わが子よ  
40年の生涯を寝たきりで過ごした  
お前のための・・・



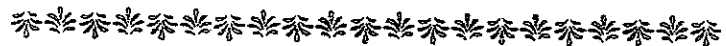
この詩は、新聞の投書欄からつくられたもので、実際にあったお話です。皆さん、この詩を聴かれてどう思われましたか？私は素直に感動しました。さりげなくも温かく心深い思いやりのある客室乗務員の方のこの行動は、恐らくこのご夫婦の心をほっこり温め、旅の忘れ得ぬ思い出として心に刻まれたと思います。「大切にされた」という体験は人の心を癒し、いつまでも残ります。先に朗読された聖書のみことばで言えば、「信仰と、希望と、愛、この3つはいつまでも残る。その中でいちばん大いなるものは愛である。」と表現されるように。

お客様に飲み物をお配りするキャビンアテンダントの「仕事」上の義務は、ご夫婦にふたつお出しすれば十分達成されます。でも、この客室乗務員の方は、目にした光景からご夫婦のご事情や心の痛みをさっと感じ取り、相手の気持ちを自分の中に写し取って共感し、「お写真の方にもどうぞ」思いやりを行動に移しました。「優しさ」という字は人偏に「憂い」と書くように、人の憂いに寄り添う「プラスαの深い思いやり」「天使の羽のひとふり」とでもいいでしょうか。大切にしたいです。私は素直に思います。私もこういう人でありたい。そして、田園調布雙葉の生徒の皆さんにも、ぜひこういう心遣いの出来る人であっていただきたいと。それは単なる「義務」を越えるものであり、「人間性の深さ」や「徳」というものはこういう所に滲み出るものだと思うからです。

1学期の始業式に「自律の心を通して自立をめざそう 校訓を生きることを通して」という今年度の目標を掲げました。「徳においては純真に 義務においては堅実に」何度も耳にする校訓ですが、私はこの客室乗務員のあり方は立派にこの校訓の精神を実現していると思います。神さまのみ前に裏表なくまっすぐに、純真にあること。そして人間として果たすべき義務・・・私はこの究極は「愛すること」と思っていますが、心の奥底にある泉のように深い純な心で堅実に行動する。こういうことのできる私たちでありたいです。そんなに難しいことではないと思います。

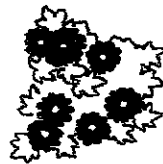
行事の多い2学期です。おひとりお一人色々なことに出会い、体験されるでしょう。特に体育祭・文化祭といった行事は、「みんなで一緒にがんばる」素敵な取り組みです。それだけ関わりも多くなり、学校内外でのふれあいも多く、沢山のお客様もお迎えします。また、高3の方は、進路の早く決まるお友達も出て来られる時期でしょう。人間ですからどうしても、いろいろな気持ちが揺れ動くことと思います。

こういう2学期だからこそ、その忙しさの中で、ちょっとした思いやりで誰かの心にほっこりあたたかいものを残せる歩みを大切にしたいです。これこそ校訓を生きることです。そんな大げさなことではなく、九品仏通りの歩き方であったり、リーダーの役割や係などでいっぱい嬉しい友人への励ましの一音であったり、ちょっとした笑顔・姿勢・言葉遣い・声かけ。毎日実現可能なことです。「徳」は習慣によって磨かれることを実感しています。思いやりをもつことを習慣化しましょう。礼儀や挨拶も相手を大切に思いやりです。この行事の多い、思いやりを形にするチャンスが多い学期だからこそぜひみんなで心がけ磨き合ひましょう。学習に向かう姿勢もこういう心の環境からぐんぐん後押しされることでしょう。時折、近隣の方からお叱りを受け失敗もする私たちですが、思いやる心や魂の深さはみんないただいているのです。行動に表さないのはもったいないと思うのです。



行事の多い今学期が「お写真の方にもどうぞ」に象徴される思いやりに満ちた学期でありますよう、その源であるお一人お一人の心と身体の健康を願い、神さまの豊かなお導きがありますよう祈りをこめて、話を終わります。

## 姿勢美人？そしてハンカチ王女？に



新型インフルエンザ感染拡大防止のために、ハンカチ・タオルの共用を避けるよう、各自ハンカチ・タオルを持参するようと呼びかけがありました。言われてみれば、トイレから出ていらした皆さんの中に、パッパと手から水をはじいたり、あららら・・・さりげなくスカートで拭いたりされる姿、目にします。

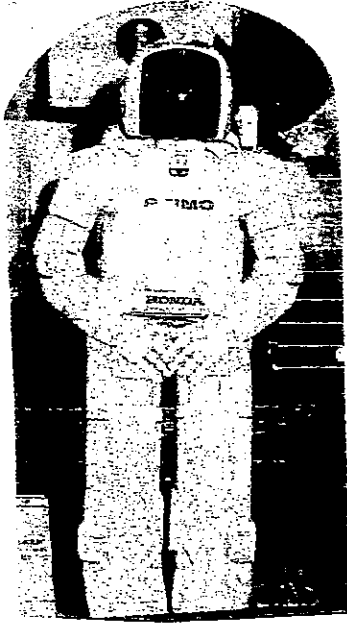
どうぞこの機会に、淑女としてハンカチ・タオルを身につけることを習慣化しましょう。甲子園の「ハンカチ王子」ならぬ「ハンカチ王女？」目指しましょう。手洗いの際に♪happy birthday to you!♪をがんばって2回歌う習慣も身につくでしょうか？案外長いものですね。

下の写真は、どの先生のお机かわかりますか？理科の中嶋先生の机の上に鎮座まします「アシモくん」です。先学期の終業式が終わった午後、ある生徒の方が、「校長先生、中嶋先生のアシモくん、見てくださいね！！」と声をかけてくださいました。（お恥ずかしいことに、それまで「アシモくん」という名前を知らなかったのですが・・・）見てみてびっくり！！

それまでリラックスして、色々な格好をしていた「アシモくん」が、左のように実にお行儀良く、足は割っていない割り箸のように、膝もくるぶしもぴったり付け、両手は自然に組んで。「姿勢」の話にすぐ応えてくださる生徒の皆さんの感性。さすがですね。

私は、この田園調布雙葉の皆さんのもつ、明るいユーモアも大好きです。

今学期も姿勢良く毎日を過ごしましょう。  
思い出するために、姿勢についてお話しした先学期の式辞の一部を真録？します。



お掃除も済んで「やれやれ」ですね。1学期を締めくくる今日、ひとつだけ、みんなで見守ってみたい、考えてみたいことがあります。それは「姿勢」です。文字通り、「姿勢」とは、その人の勢いを示すもの。物事に向かう生き方・相手に向かうありかたを示します。ぴりぴりしすぎてはいけませんが、「よい意味での緊張感がよいものを生み出す」・・・これは本当のことです。ここでちょっとご自身で一番よいと思う姿勢をとってみてください。背中は椅子の背もたれから離し、腰骨を立てる。この姿勢は「腰を立てる」と書いて「立腰」といわれます。先ほど朗読された聖書では、人に見せびらかさず隠れてよい行いをする「陰徳」の姿勢が示されました。「陰徳」と「立腰」は昔から日本人が大切にしてきた「自主・自律」の基本と呼ばれる姿勢です。特に「立腰」は「いったん決心したことを必ずやりぬく人間になる基本姿勢」とも言われた姿勢です。まず腰を立てること。足はひざもくるぶしもぴったりくっつける。（男の先生方はちょっと違いますが）女性の場合、足は「割ってないわりばし」このイメージが良い姿勢です。手は自分の足を暖めてあげるイメージで自然にくんで。首はまっすぐ、顔を起こして。この姿勢で目を閉じて、振り返ってみましょう。授業に向かう姿勢はどうでしたか？さまざまな活動に協力する姿勢は？新しい夏服を着る姿勢はどうだったのでしょうか？ご家族・友達・先輩・後輩に対しては？先生方に対してはマナーを守り、節度ある姿勢が取れたのでしょうか？今日は、この一番美しい姿勢で、静かに1学期を振り返ってみましょう。短い曲を流しますので、今学期を振り返ってみましょう。一番嬉しかったシーン、感謝したいことなどなど思い浮かべてみてください。曲の名前は「愛に包まれて」です。自分がどんな状態の時でも見守ってくださったのはどなたでしょうか？支えてくれた笑顔、どなたの笑顔が浮かびますか？心に浮かべてみてください。この姿勢をしていると自分の手の平のあたをかさでぽかぽかして行くかも知れません。